

フィジカルAIの広がり と 次世代AI投資

次世代AI株式戦略ファンド

追加型投信/内外/株式



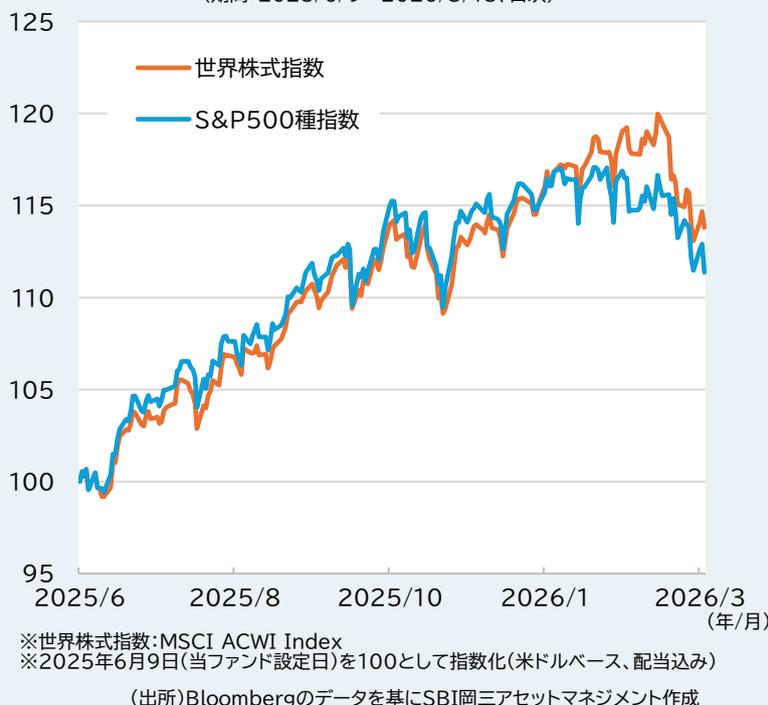
- 平素は『次世代AI株式戦略ファンド』(以下、当ファンド)に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
- 本レポートでは、当ファンドの足元の運用状況についてご紹介します。

足元の投資環境 (2026年2月28日時点)

2月の世界株式市場は上昇しました。MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(ACWI)は米ドルベースで約1.3%上昇しました。米国では雇用や景気指標が底堅く推移し、インフレも徐々に落ち着きつつあったことから、米連邦準備制度理事会(FRB)が金融緩和サイクルを継続するとの見方が強まり、株価の下支えとなりました。月後半は中東における緊張の高まりから原油価格が上昇するなどしたことで、市場の変動性が高まりました。

AI関連分野では、AIインフラ需要の強さが引き続き確認されました。エヌビディアは売上高が前年同期比+73%となる力強い決算を発表し、「アマゾン」のクラウド事業(AWS)の売上高も同+24%と再加速しました。また、アマゾンやメタ・プラットフォームズなどのハイパースケイラー(クラウドサービスを大規模に構築・運用する企業)はAI関連の設備投資計画をさらに引き上げており、AIインフラ投資の拡大が続くとの見方が強まりました。一方で、ソフトウェア分野ではエージェントAIによる競争激化への懸念が続き、ソフトウェア関連株は下落しました。

図表1 世界株式指数とS&P500種指数の推移
(期間:2025/6/9~2026/3/18、日次)



当ファンドの運用状況

2月の基準価額は1.1%下落しました。当月はAIインフラ関連銘柄が堅調に推移しましたが、一部のインフラ銘柄やイノベーター銘柄が軟調となりました。

AIデータセンターの急速な増加の恩恵を受け、光通信関連の「ルメンタム」や、データセンター電力・冷却設備を提供する「パーティブ」、ネットワーク測定機器の「ヴィアヴィ・ソリューションズ」等の株価が上昇し、基準価額にプラスの寄与となりました。

一方、AI投資の拡大に伴う短期的な利益圧迫が懸念された中国の巨大Eコマース企業である「アリババ」や、AIエージェントの進化による悪影響が警戒されたソフトウェア開発や運用のプラットフォームを提供する「Jフロッグ」等の株価は下落し、基準価額にマイナスの影響を与えました。

図表2 当ファンドの基準価額の推移
(期間:2025/6/9~2026/3/18、日次)



次世代AIの進化の途中～フィジカルAI

近年、AIの進化の中で特に注目を集めているのがフィジカルAIです。例えば、自動運転やロボティクスの分野ではAIが周囲の状況を理解、判断し、実際に行動することで、製造・物流・交通など様々な産業の効率化が期待されています。

こうした技術の進展は、AIがデジタル世界だけでなく現実の経済活動に直接かかわる段階まで進んでいることを示しています。

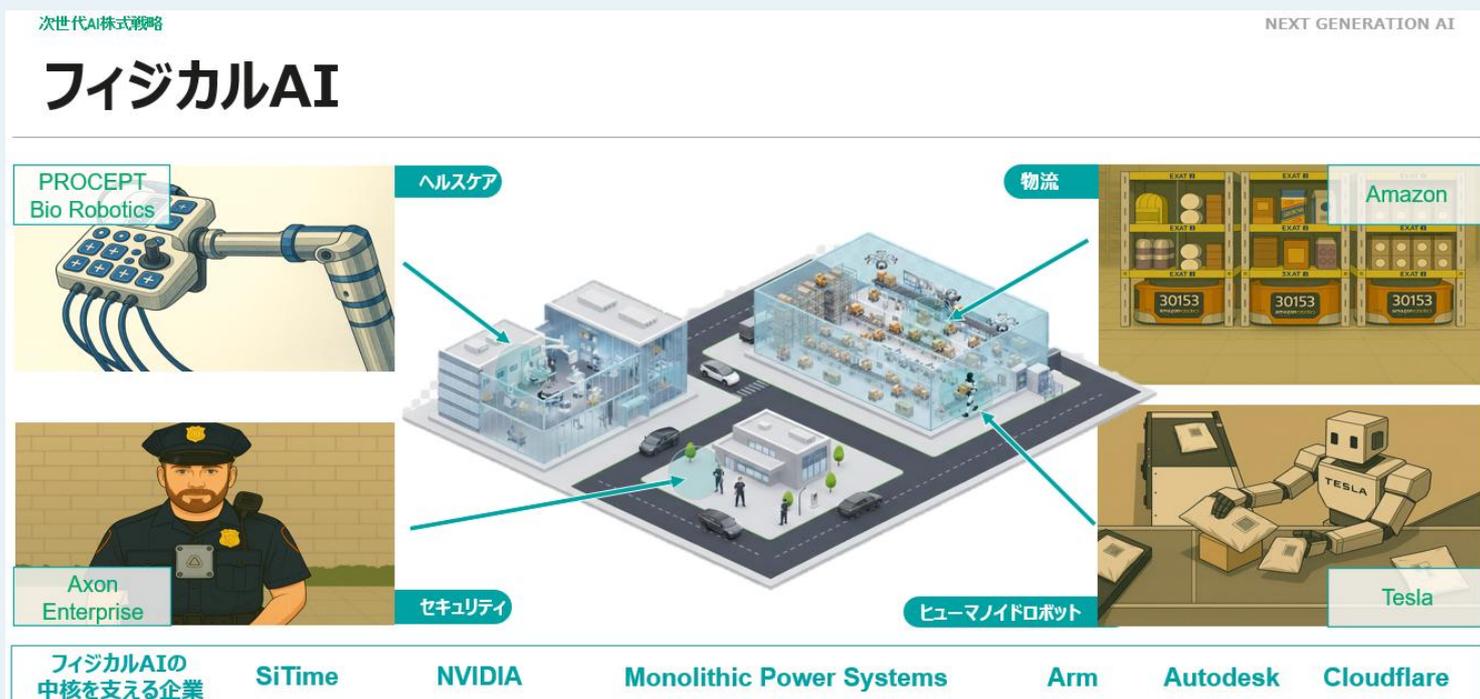
■ フィジカルAIへの関心の高まり

当戦略の中でもフィジカルAIは重要な位置を占めています。具体例として当ファンドに組み入れているフィジカルAIをリードしている企業を4社ご紹介します。

まず、ヘルスケア分野では「**プロセプト**」社です。AIをロボットに組み込み、手術の安全性向上や外科医のトレーニングの効率改善に貢献しています。次にセキュリティ分野では、「**アクソン**」社です。警察などの法執行機関向けに接続型デバイスやクラウドベースのソフトウェアを提供しており、実際に現実世界の警察官がボディカメラから収集されるデータをAIで分析・活用しています。物流分野では、「**アマゾン**」社がAIを備えたロボティクスを活用し、競争優位性を築いています。同社の施設内で稼働するロボットが100万台を超えたと発表しており、ロボットが高度な知能を備えるにつれて、生産性と効率性はさらに向上していくと考えられます。

最後に「**テスラ**」社です。同社にはフィジカルAIにおいて大きく2つの成長機会があります。1つ目は、自動運転分野における業界トップクラスのポジションであり、その技術はますます高度化しています。自動運転は現実世界の状況を認識・判断し、車という物理的存在をコントロールするフィジカルAIの代表例です。2つ目はヒューマノイドロボットです。ヒューマノイド市場はまだ初期段階にありますが、2026年には実証実験の段階から初期的な商用展開へと進む可能性がありそうです。

図表3 フィジカルAIを牽引する4社



(出所)アクサ・インベストメント・マネジャーズ(UK)

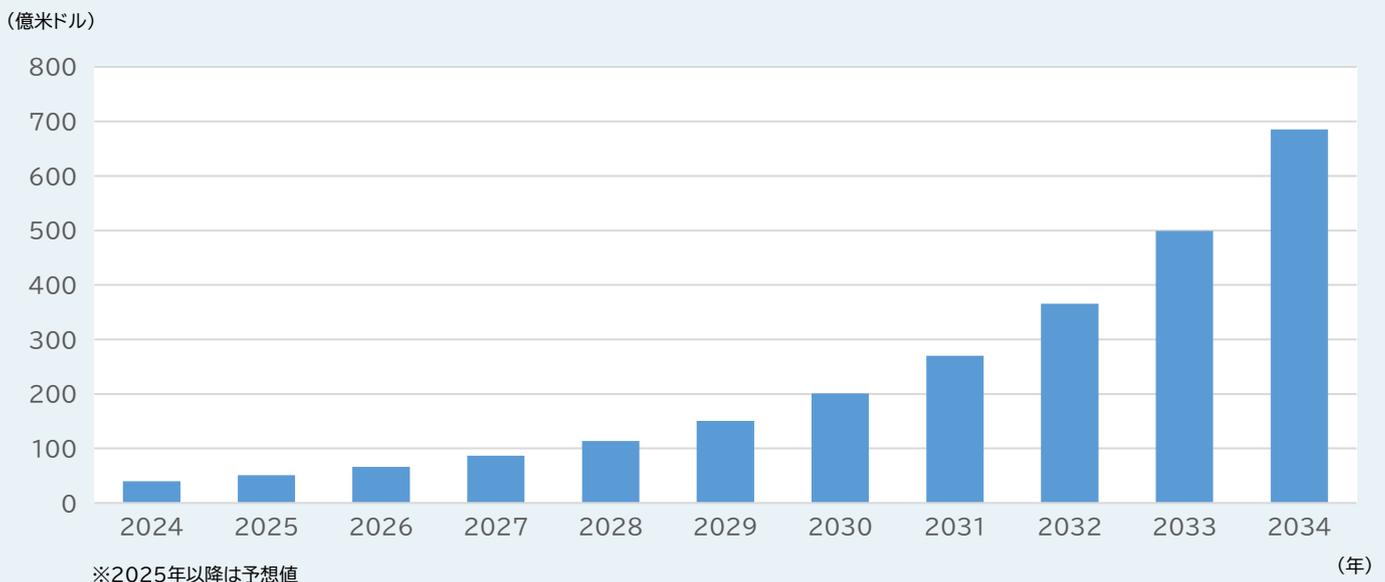
※上記イラストはイメージです。

※記載のフィジカルAI関連企業は2025年12月31日時点のポートフォリオ保有銘柄であり、将来ポートフォリオに含まれなくなる可能性があります。

NEXT GENERATION

前述の4社のほかにも、ポートフォリオには図表3の下段に示しているようなフィジカルAIを支える部品メーカーや関連企業も組み入れており、フィジカルAIの成長とともに恩恵を受けることが期待出来る構成としています。フィジカルAIの実現にはAI半導体、AIソフトウェア、AIプラットフォームなど多くの技術が必要となります。そのため、AIの投資機会は特定の分野に限定されるというよりは、AIのエコシステム全体と捉えることが最善だと私たちは考えています。当ファンドではフィジカルAIを含む次世代AIの進化を支える企業群にも幅広く投資を行うことで、次世代AIの成長機会を多面的に捉えることを目指しています。

図表4 フィジカルAI市場の規模推移（2024年～2034年）



(出所) Cervicorn Consultingのデータを基にアクサ・インベストメント・マネジャーズ(UK)作成

今後の見通しと運用方針

次世代AIを取り巻く環境は、急速に進化を続けています。2025年は、ハイパースケーラーを中心とした次世代AIインフラへの投資が非常に好調でした。2026年も引き続き大規模投資による力強い成長が期待されています。また、「エヌビディア」のBlackwellアーキテクチャ上で学習された最初のモデルが2026年前半に登場することで、AIモデルの性能は大きく前進すると期待しています。これによりAIの実用性がさらに高まり、AI活用および推論需要の成長が続くと考えています。一方、ソフトウェアを中心とした下流のAIイノベーターに対する市場心理は現在非常に弱く、我々はこの状況を注視する必要があると考えています。ただし、この無差別的な売りは、AIの恩恵を実際に収益として取り込める企業にとっては投資機会を生み出していると考えています。次世代AI主導の売上成長を示すことが、今後の評価回復の鍵になると見えています。

生成AIの導入は加速しており、その導入スピードや投資収益率は想定を上回っています。次世代AIは多くの産業に応用が広がる“汎用技術”と捉えることができるため、今後はインフラ企業に加え、AIを活用して新たな価値を生み出すイノベーター企業にも収益機会が広がっていくと見えています。その中で、次世代AIの社会実装を支える中小企業の役割が急速に高まっています。次世代AIエコシステムの中で、不可欠なサービスを提供できる中小企業は、今後も市場成長の恩恵を受けていくと考えられます。当ファンドでは、市場環境に合わせてインフラ企業とイノベーター企業の両方にバランスよく投資しながら、競争優位性を持ち、成長が期待される企業に投資を続けて参ります。

販売会社一覧 2026年3月30日現在



受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
 なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
三津井証券株式会社	北陸財務局長(金商)第14号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

委託会社
お問合わせ先

電話番号
03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

次世代AI株式戦略ファンドに関する留意事項



投資リスク

基準価額の変動要因

投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。

ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「特定の業種・テーマへの集中投資に係るリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因は、「カントリーリスク」があります。

※「基準価額の変動要因」は、上記のリスクに限定されるものではありません。

留意事項

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込の受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消することがあります。

お客様にご負担いただく費用

- 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。
 - 運用管理費用（信託報酬）：純資産総額×年率1.2925%（税抜1.175%）
 - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担：純資産総額×年率1.826%（税抜1.66%）程度
※実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
 - その他費用・手数料：監査費用〔純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）〕
有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用等を間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

<本資料で使用しているインデックス>

- MSCI ACWI IndexはMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。



商号等：SBI岡三アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第370号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みには、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。